小平町１人１台端末の利活用に係る計画

１．１人１台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

世界的なデジタル化、オンライン化が普及していく中で、学校も ICT を活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な実現のため、当町においても授業・学習支援ソフトを活用して「ICT を活用した教育の推進」を行っている。

今後も「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図るとともに、児童生徒が自分自身の現状を把握し、次の学びを決定していける「主体的な学習者」の育成を目指していく。

２．GIGA 第１期の総括

GIGA スクール構想推進においては、新型コロナウイルスの影響により、段階的に導入予定だった「１人１台端末」の整備が前倒しとなり、当町においては、令和３年度から小中学校全児童生徒へタブレットが配布され「教育現場における ICT 化」が急速に進んだ。

授業･学習支援ソフト､校務支援システムの導入､教師用デジタル教科書についても一部導入し、ICT を活用した教育に資する環境を整備し、ICT 支援員を各小・中学校へ定期的に派遣を実施し、ICT 機器活用サポートを実施している。

現在ではタブレットの利用を前提とした学習計画、ICT 環境整備が進んでおり、授業にはタブレットが必要不可欠なものとなった。また、家庭への持ち帰りにより、学校以外においても日常的な利活用が進んでいる。

利用状況から判明した課題として、児童生徒が利用する端末の落下等による破損や、動作不良による不具合により一時的に予備機が不足するなどの状況が発生するため、タブレットの利用方法については今後も引き続き適切な指導、対策を行う。

３．１人１台端末の利活用方策

GIGA 第１期にて、学校での教育活動を始め、児童生徒が自宅学習でも ICT 端末を利用することが日常的となっており、今後も ICT 機器を活用した学習が必要不可欠であることから、令和７年度中に端末を更新し、更なる機器の利活用を促進する。

・１人１台端末の積極的活用

持ち帰り学習等の積極的な取り組みを継続するとともに、授業で活用しやすいアプリケーションの導入やガイドラインに基づく生成 AI の活用についても順次検討する。

・個別最適・協働的な学びの充実

学習支援ソフトを活用することで、授業内外での「個別最適な学び」と「協働的な学びの充実」を図り、今後もさらに充実を図るため、検証を行い活用の幅を広げていく。

・学びの保障

不登校児童生徒など、さまざまな状況の児童生徒に対して、学習機会の確保を行っていくため、端末の活用方法の周知徹底はもとより、学校における教員の ICT 活用をサポートしていく。